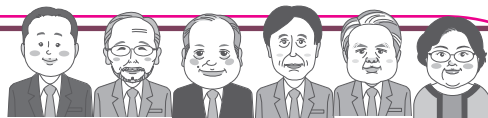


の重点活動



～民生文教常任委員会～

行政視察（千葉県南房総市・大多喜町）

◆千葉県南房総市◆
人口 35,780人
(令和4年9月1日現在)
面積：230.10km²

南房総市と大多喜町を視察

7月4日～5日



教育関係者と意見交換

◆千葉県大多喜町◆
人口 8,436人
(令和4年9月1日現在)
面積：129.87km²

町の活性化につながるSDGsの取組み

SDGs 大多喜学園を視察。

(株)JPFが廃校を活用して「スポーツが育む社会(場づくり)」「地域が育つ事業へ(街づくり)」「人が育つ企業へ(人づくり)」の3つを主に事業を展開している。

また同社は、農業に従事しながらプロバスケット選手として活躍できる人材を育成したり、農業の抱える問題に果敢に取り組んでいて、今後成功事例として全国に展開できれば農業に対する大きな期待が持てる取組みであると感じた。食に携わる職業としての重要性を再確認し若い人が希望を持って関われる環境を本町でも作っていただきたい。そういう思いになった。



幼保小中一貫校（嶺南学園内で）

南房総市における特色ある教育

南房総市では、子どもたちが地域に誇りと強い思いを持ち、自己の可能性を伸ばす教育を推進するために、

4つの柱を教育方針に掲げている。

- ①学力の向上
- ②南房総学の推進（故郷への誇りと強い思いの滋養）
- ③非認知能力の育成
- ④ハイテクとハイタッチ、デジタルとアナログを並行させた保育・教育の展開

当日対応頂いた三瓶教育長をはじめ関係者との意見交換が行われ、教育長の子どもたちに対する熱い思いを感じた。

「教育とは生き方を教えること。教え続けるために学び続ける。」との信念をもって子どもたちに向き合っている姿に感銘を受けた。



SDGs 大多喜学園と意見交換



SDGs 大多喜学園校舎